

4 Modes SmartE シリーズ

広範囲動作温度対応産業用5~16ポート ファースト/ギガビット イーサネットスイッチ



モードボタン によって迅速、簡単な設定

Download Datasheet

▶ Watch Video

小型エッジアプリケーションに最適なライト管理イーサネットソリューション

SmartEシリーズは、十分なレイヤ2管理機能を提供し、プロセス自動化、ビルオートメーション、再生可能エネルギー、自動運賃収集システムなど、幅広い用途に適合する費用対効果の高い運用効率を実現します。

- IP management
- RSTP
- SNMP
- VLAN
- IGMP snooping
- QoS



小規模で多様な産業用途に適したモデルを選択可能

- **帯域幅**
10/100Mbpsか1000Mbpsが必要なのはどんな帯域幅？
- **ポート数を選択**
イーサネット接続が必要なデバイスの数 :5、8、または 16 以下？
- **接続インターフェイス**
接続されたケーブルはどんなインターフェイス- RJ-45 インターフェイス(銅ケーブル用)、SFP インターフェイス(光ファイバケーブル用)、またはその両方？



Fast Ethernet –

10/100 Mbps 帯域幅は、各ポートに十分な速度とスループットを提供します。

SF300-05	5-port 10/100BASE-T(X)
SF300-08	8-port 10/100BASE-T(X)
SF300-0602	6-port 10/100BASE-T(X) + 2-port 100BASE SFP
SF300-16	16-port 10/100BASE-T(X)
SF300-1402	14-port 10/100BASE-T(X) + 2-port 100BASE SFP



Gigabit Ethernet –

大規模なデータ転送が必要な場合は、10/100/1000 Mbps の帯域幅接続を高くすることを検討してください。

SG300-08	8-port 10/100/1000BASE-T(X)
SF300-0602	6-port 10/100/1000BASE-T(X) + 2-port 100/1000BASE SFP
SF300-16	16-port 10/100BASE-T(X)
SG300-120202c	12-port 10/100/1000BASE-T(X) + 2-port 100/1000BASE SFP Combo + 2-port 100/1000BASE SFP

モード1 デフォルト設定にリセット

状況1. 予想外の人為エラーを解決するに、例えば…

- ▶ 設定の間違い(誤ってVLANを設定すると、スイッチに再接続するためのアクセスが失われます。)
- ▶ ユーザー名またはパスワードを忘れたため、スイッチにアクセスできません。

モードボタンソリューション - モード1デフォルト設定にリセット

「モード1」を使用し、SmartEスイッチに保存されている設定をすべて削除します。これにより、スイッチが工場出荷時の初期設定にリセットされます。



モード2 固定IPアドレスでの操作

状況2. 今までにこういう状況あったことありますか。

- ▶ イーサネットスイッチをラップトップに接続しましたが、接続されていません。それはなぜでしょうか。原因はネットワークインターフェイスカード(NIC)の設定を変更していません。但し会社のITポリシーに従うため、承認プロセスが完了するまで、ユーザーはネットワークインターフェイスカード(NIC)の設定を変更できません。
- ▶ 十分なネットワーク管理の経験がない或いは初心者などのユーザー

モードボタンソリューション - モード2固定IPアドレスでの操作

ほとんどすべてのラップトップのNICのデフォルト設定は「DHCPクライアント」です。ユーザーはWindowsのIP設定を変更する必要はありません。SmartEで「モード2」を選択すると、自動的に「DHCPサーバー」になり、接続されているラップトップに同じサブネット内のIPアドレスが割り当てられます。したがって、ラップトップで手動で設定しなくても、事前定義されたIPアドレスを介してSmartEスイッチに直接アクセスできます。



モード3 IP構成をリセットする

状況3. IPアドレスを介して特定のイーサネットスイッチにアクセスする必要がある場合…

- ▶ 設定をさらに変更します。
- ▶ システムログを確認して、ネットワークのトラブルシューティングを行います。しかし、スイッチのIPパラメータを覚えていないことに気づきましたか？

モードボタンソリューション - モード3: IP構成をリセットします。

「モード3」を選択すると、SmartEスイッチに保存されているIPパラメータ(IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス)がデフォルトにリセットされます。ただし、スイッチで設定されている他の機能設定について心配する必要はありません。保存された設定はそのまま残ります。



モード4 アンマネージドモードでの操作

状況4. 何か達成したいユーザーに…

- ▶ プラグアンドプレイ、経験の浅いユーザーでも、事前設定を必要とせずにご利用可能です。
- ▶ 予期しない不具合を防ぐためにネットワークの冗長性が必要であり、複雑な設定手順は不要です。
- ▶ リモートアクセスからのサイバー脅威の可能性を最小限に抑えます。

モードボタンソリューション - モード4: アンマネージドモードでの

「モード4」で操作すると、SmartEスイッチがより簡単かつ安全に使用できるようになります。すべてのリモート管理インターフェイス(IP、WebGUI、CLI、およびTelnet)を無効にしても、ネットワーク冗長性メカニズム「RSTP」は手動で設定することなく自動的に有効になります。

***プラスアルファの利点:** 「モード4」により、SmartEはアンマネージドスイッチのように動作しますが、より優れています。この方法でネットワークセキュリティをレベルアップしてください! 下記の主要なレイヤー2管理機能は、このモードで実行でき、ユーザーがWebGUIで事前にいくつかの構成手順を実行するだけで済みます。

- ▶ IGMP snooping
- ▶ Broadcast/multicast limiter
- ▶ VLAN configuration

